

“街道テクテク・甲州道中” No. 4 (2018-12-16)

参加者：芦田拓也、碓貴臣、大田黒鐵彦、太田哲夫、後藤幸子、佐熊範和、染谷みどり、高野泰三郎、黛政男、三木和幸、水越正孝、矢崎文彦、山岸任、山口健三、木村芳一

行程：府中→日野 9km

府中→高札場（甲州街道と府中街道の交差点）→問屋場跡（中久本店）→高安寺（曹洞宗、足利尊氏再建）→本陣門（内藤家冠木門）→熊野神社（旧本宿村の鎮守）→谷保天満宮（関東三天神の一つ）→南養寺（臨済宗）→永福寺（臨済宗）→五智如来→立日橋（多摩川）→日野渡船場跡→東の地蔵（日野宿の江戸口）→日野宿交流館→問屋・高札場跡→日野宿本陣→八坂神社→日野駅近くの“目利きの銀次”で反省会

・冷たい風が吹く状況での歩きでした。寒い中で、また立ち寄る場所が多かったこともあって、距離は伸びませんでした。

・府中市の多摩川流域には、6、7世紀の古墳時代に多くの古墳が築かれたようで、今回見た熊野神社裏側の古墳もその一つです。稀な構造の上円下方墳であり、かなり実際に近い形に復元されていました。併設されていた原寸大に復元された石室に入って見学しました。

・永福寺、南養寺、宝泉寺（次回）は鎌倉建長寺派の寺であり、また弁慶に関連する高安寺の弁慶硯の井、弁慶橋標石、弁慶坂碑などがあり、今回歩いた領域は鎌倉との関係が深いようです。

・日野宿交流館では、江戸時代の日野宿の様子、多摩川の日野渡船場の渡風景、当時の生活用品などが展示され、あまり知られていない昔の日野の状況を良く理解できました。

・高札場、問屋場跡（中久本店）、本陣門（内藤家冠木門）、日野宿本陣 等は昔の面影をかなり残すものでした。 (木村芳一)

